

世田谷古地図

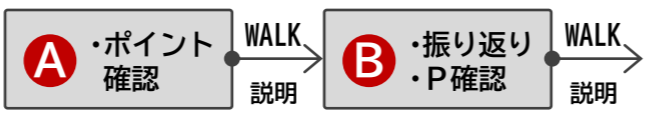
# 代田 まちあるき 【12/2】

代田 1～3 丁目

南

代田まちづくり協議会提案の「代田地区まちづくり計画」をもとに、まちを点検して、気づいた点を今後の地区街づくり計画につなげていきます。様々な視点でまちを確認していきましょう。

**【まちあるきの流れ】**  
 ■ A～B間のポイントを確認後、Bに向かいます。Bでは、A～B間の振り返り、次のCのポイントを確認します。



□ 気づいたことは職員へお伝えください。  
 ※小さいことでも何でもOKです！

□ 気になった箇所は写真で記録！（任意）  
 ※写真は右の投稿サイトへの投稿にご協力をお願いします。区・協議会の活動で活用させていただきます。  
 ※写真の撮影時は、一般歩行者・個人宅等が映らない工夫や、撮影写真の取扱いにご配慮をお願いします。



**【注意事項】**  
 □ 車・自転車等に十分注意するとともに、一般歩行者・自転車等の通行の妨げとならないようにご配慮をお願いします。  
 □ 個人住宅や敷地内には立ち入らないようにしてください。

## 代田まちづくり協議会 提案 【代田地区まちづくり計画】

**計画の性格・目標年次**  
 代田1～6丁目を対象とし、区及び地区住民が協力して進めるまちづくりの将来像や基本方針、実現のための方策を示し、今後、概ね10～20年を目処とした中長期の計画を基本とし、可能な事項については短期的に実現を図る計画。



**まちづくりの将来像と基本方針**  
 ■ **代田の歴史・文化・環境を愛し、誇れるまち**  
 (1) 代田の由緒ある地名や史跡の継承  
 (2) 富士山の眺望を活かしたまちづくり  
 (3) 質の高い街並み景観の実現  
 (4) 日常生活における環境保全・衛生環境の向上

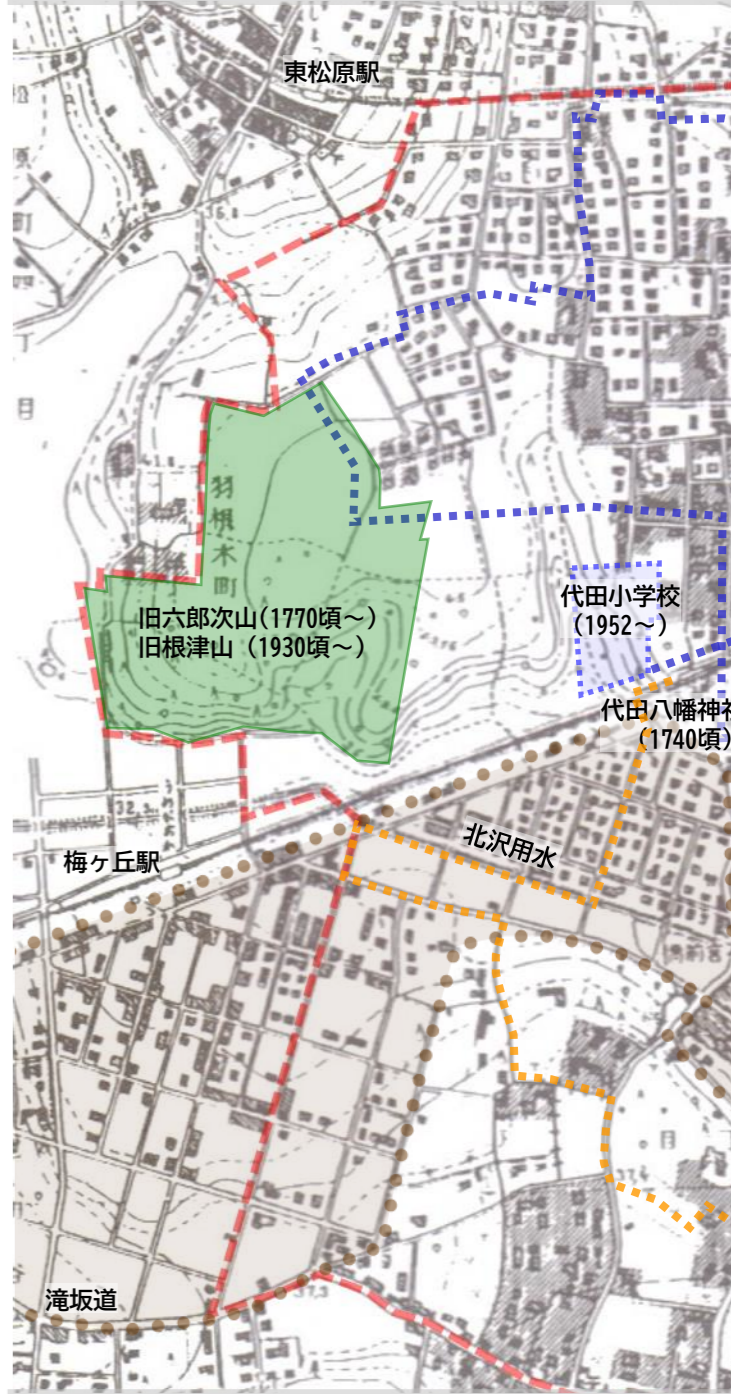
■ **すべての人が住みやすく、憩えるまち**  
 (1) 緑化の推進  
 (2) 身近な公園・広場の充実  
 (3) 高齢者の出歩きやすく憩える環境づくり  
 (4) 住民相互のコミュニケーションの充実

■ **安全で快適な住居環境が確保されるまち**  
 (1) 住まい方のマナーの啓発  
 (2) 良好な住環境の保全  
 (3) 災害等に強いまちづくりの推進  
 (4) 防犯まちづくりの推進

■ **住民が安全に移動できるまち**  
 (1) 歩行者・自転車にとって安全な道路  
 (2) 生活道路の安全対策  
 (3) 分かりやすく安全で快適な道路づくり  
 (4) 自転車の安全な走行環境の整備  
 (5) 歩道橋の設置・改修

■ **駅周辺のにぎわいと交通の利便性を享受できるまち**  
 (1) 世田谷代田駅前の整備・活用  
 (2) 新代田駅前の整備  
 (3) バス路線の充実  
 (4) 賑わいの空間としての商業空間の充実

**【代田の歴史】**  
 世田谷城城主吉良氏朝の家臣であった「代田七人衆」がこの地に帰農し、開墾したのが始まりと伝えられています。かつての「代田村」は、現在の代田と大原のほか、代沢の一部の飛地にも及んでいました。その後、明治22年の市町村制により「世田ヶ谷村」に合併された際には、「大字代田」として、本村(本村、花見堂、栗原、砂利場、宮前)、中原(吹上、宮ノ上、中丸、西丸、守山)、大原、下代田の4つの地域に分けられていました。昭和39年の住居表示の実施により、本村、中原を中心に、現在の代田1～6丁目となりましたが、かつての地名が今も随所に残っています。



**【代田の地名の由来】**  
 昔、現在のまもりやまテラス付近の窪地のことを大男「だいだらぼっち」の足跡と呼ぶようになり、「だいだらぼっち」が変化し、「だいた」となったという説が有力だと考えられている。

昭和14年 (1939)

## ■まちあるきの視点

歩きやすい、住みよいまちに向けて、  
街の「良い・気になるところ」を見つけよう！！

良いところ

➔ 継承したい風景、自然、施設、活動 など

気になるところ  
(危険・課題)

➔ 改善のための工夫やアイデアはあるか？

工夫

されているところ

➔ 緑の使い方、空間の工夫、一休みの場所 など

A ~ B

### ■駅前広場（ダイダラボッチ）

住民ワークショップの提案から、代田の由来である『ダイダラボッチの足跡』をモチーフにして設計した広場。富士山が見える眺望ポイント。



### ■小田急線上部通路

小田急線の地下化により生じた線路跡地を区の通路として整備。



B ~ C

### ■見晴らしの良い眺望（旧鶴ヶ岡公園ひまわり会）

貴重な景観である坂道の眺望。右の写真は当時(1950年)あった旧鶴ヶ岡公園。(世田谷デジタルミュージアムより)



### ■代田の丘の61号鉄塔（地域風景資産◆）

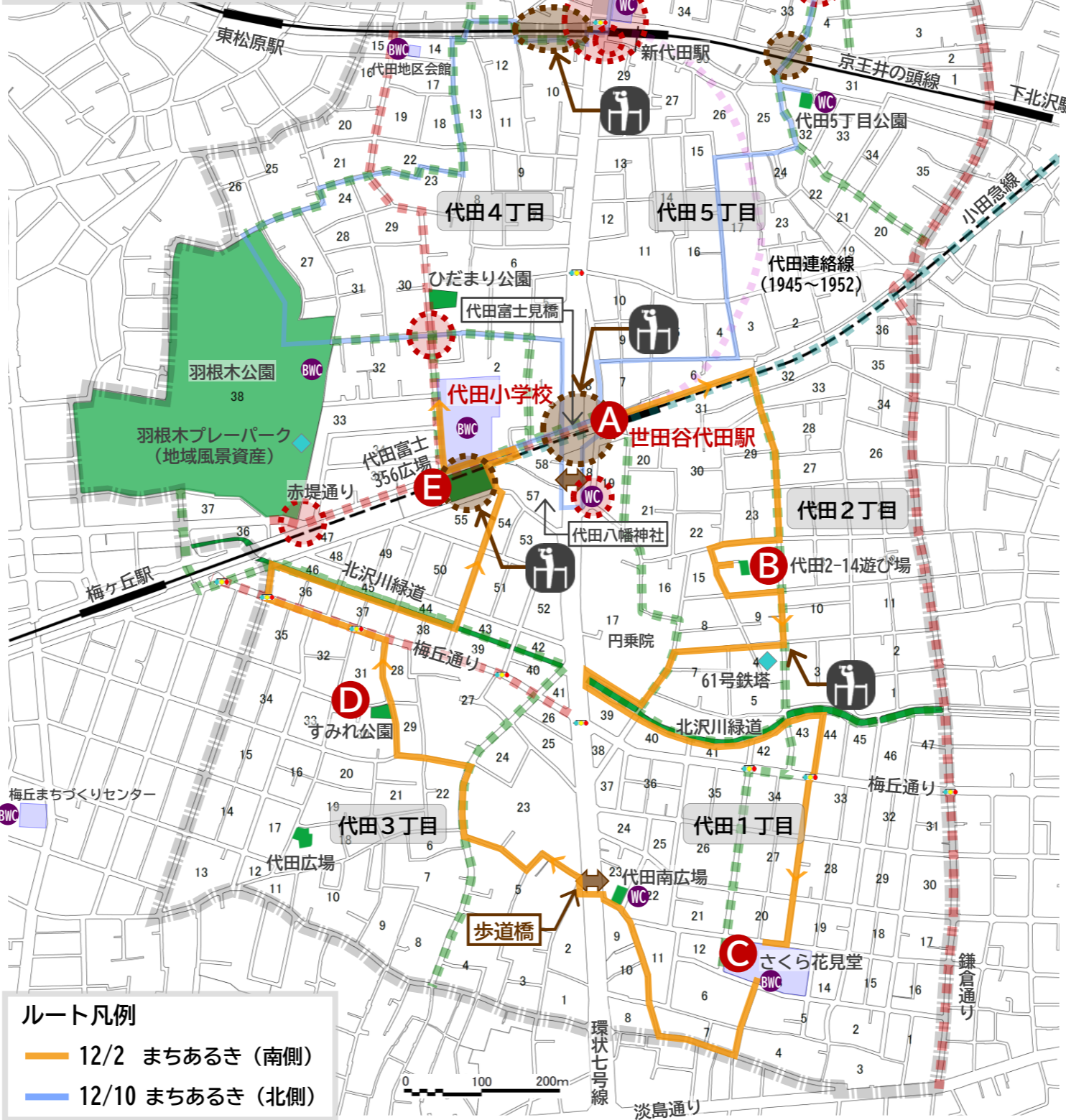
本鉄塔のすぐ下には、昭和8年頃、詩人の萩原朔太郎が家を建てて住んでおり、その娘葉子の小説にも鉄塔が描写される。



## 〈代田地区まちづくり計画付図：凡例〉

- 地区街づくり計画検討区域
- 散策ルート案
- 安全性を改善すべき道路
- 小田急線上部利用
- 保全すべきポイント
- 改善すべきポイント（危険な交差点等）
- 公共施設（小学校・小学校跡地等）
- 公園・広場

※環状七号線：歩道における自転車歩行者の安全確保



### ルート凡例

- 12/2 まちあるき（南側）
- 12/10 まちあるき（北側）

## ■北沢川緑道（散策ルート\_側道あり）

上流の赤堤から下流の池尻までの延長約4.3キロ。北沢川の水源地は松沢病院の構内で、湧水を集めて池尻、三宿の三村境で烏山川と合流し、目黒川と名を変える。環状七号線以東は、平成6年度から住民参加で、せせらぎを復活した整備を推進。



C ~ D

### ■さくら花見堂

昭和34年創立の花見堂小学校跡地に、令和3年にオープン。約30回のワークショップを重ね、施設の基本方針、計画づくり、運営方法などを検討。施設内の家具は、旧花見堂小学校等の樹木を活用して住民参加で制作。



### ■滝坂道（地域風景資産）

滝坂道は江戸時代に甲州街道が開設される以前、江戸と府中を結ぶ街道であった。

### ■歩道橋（東京都）

D ~ E

### ■梅ヶ丘通り

淡島方面から梅ヶ丘駅に至るバス通り。起点は都道423号線と代沢4丁目の淡島の交差点。終点は都立光明学園の交差点。

### ■北沢川緑道（散策ルート\_側道なし）

### ■代田富士356広場

地域の方々とワークショップで作り上げたプラン。広場の名称は、富士山の眺望及び住居表示の語呂合わせのアイデアから命名された。



### ■赤堤通り